

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

入江、千賀、山蔦、西口、服部

2. 山域／ルート

堂満岳第一ルンゼ中央稜

3. 交通手段

自家用車

4. 行動記録 <入山日 2022年2月5日 下山日 2022年2月5日>

2月5日 神戸発 3:30-6:40 イン谷口 7:10→8:25 堂満岳第一ルンゼ入口(登攀装備、アイゼン装着)8:50→9:10 中央稜取付き(2パーティー登攀待ち後に 9:45 千賀・入江パーティー開始、10:10 山蔦・西口・服部パーティー開始)→4ピッチ(11:50 千賀・入江パーティー終了、12:15 山蔦・西口・服部パーティー終了)12:55→雪稜→13:25 堂満岳山頂 13:45→堂満東稜道から途中別の尾根を下る→15:20 イン谷口→京都大原の旅館 泊

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

堂満岳山頂からの下山は堂満東稜道一般ルートを下り、720m地点の谷側へ下りず尾根道をショートカットし下山。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・今週末は強い冬型の気圧配置となり強風と大雪の可能性があったが、堂満岳中央稜は主稜線の陰に隠れた北東面で、直接北西の季節風が当たらず、樹林帯内であり、また太平洋側気候に近く GPV 予報でも大雪エリアから外れていたこと、付近のルンゼから容易に下山可能であることから入山した。私たち以外に7パーティー程入っていた。

・今シーズンは積雪量が多く、中央稜の多くが雪稜となっていたことと、トレースがあり階段状となっている箇所も多く、中央稜登攀の難易度は低かった。

・テムレスでの凍った岩場登攀は滑りやすかったため、冬期登攀には適さないと思う。

・カムが使える場面が多かった、あれば便利。カム#0.75-2、ダブルロープ 50m×2、アックス 1本、ワカン(使用せず)

<感想>

週末は全国的に日本海側には大雪警報がでていたが、堂満は小雪が常に舞っているも時々青空も見え、登攀には全く問題なかったので良かった。私は今回2回目で2年前は取付きをスルーしたため、最後のチムニーのみの登攀となったが、今回はスムーズに取付きまで行くことができ、P1から登ることができた。一番警戒していたP2が左側からクラックを登るルートで行ったが、雪に覆われ雪稜階段状となっていて普通に歩いて行けた。想像していたより中央稜が短くあっというまに終わってしまい、やや物足りない感じではあったが、2年前はチムニーをセカンドで登らせてもらった時は冬期登攀を始めたばかりの年で、めちゃくちゃ怖かった思い出があるが、今回は難易度が低かったこともあるが、チムニーをリードで行けたので良かった。今シーズン冬期登攀を始めたばかりのゼニコさんとパラリラさんも、リードをドキドキしながらも頑張っていた。

下山は一般ルートを途中から外し、傾斜が急なところは尻セードするなど遊びながら下り楽しかった。

この日は大原の安くて美味しい宿に泊まり、翌日は雪の三千院を訪ね、その帰りに絶品手作りケーキが食べれるカフェを発見し、とても充実した週末となった。





第一ルンゼ入り口の3段堰堤



中央稜取付までにある滝
トラロープあり



ロープも頼り滝を越える



取付きのPI



PIリードのせんちゃん



今日頑張ったゼニコ、PIをリード



大原三千院をくまなく散策



P2



尻セードで下山



P2から振り返って



P2裏側
中央稜の象徴的な写真



チムニーを登るバラリラさん



堂満山頂まで急登